

Taketa City Gikai News

市民との意見交換会

特集号

平成28年3月1日発行

たけた 市議会だより

●竹田東部地域	2～3
●竹田西部地域	4～5
●竹田南部地域	5～6
●竹田北部地域	7～8
●荻地域	8～9
●久住地域	10～11
●直入地域	12



岡藩城下町雛まつり

市民との協働と信頼のために

議会改革調査特別委員会
委員長 渡辺 克己



平成25年に制定した「竹田市議会基本条例」のうち、特に議会及び議員の役割について、最も基本となる条文については次のとおりです。

第二章、議会および議員の使命と

活動原則

第三章、市民と議会の関係

第四章、市長等と議会の関係

これらの条文を基本に置きながら議員それぞれが、市民の信託に応えるために活動をしています。議会改革調査特別委員会では基本条例制定から僅かの期間しか経過していないことから、議会の最高規範として、より現実に即し実行性を担保するための運用を検討項目に挙げて調査・研究を行っています。

○議会基本条例のこれまでの取組の状況については、条項ごとの達成状況等を各議員で自己評価のうえ集計し報告したところです。(28年2月発行 市議会だより41号)

○その他の検討項目についての取組状況は次のとおりです。

○議員定数につきましては、本年3月の定例会において次回改選時の定数について結論を出すことにしています。

○議会報告会・研修報告会の開催(制度化)について、「議会報告会」は「市民との意見交換会」として毎年度実施しているため、特に制度化とはしません。「研修報告会」は内容が限られることから開催せず「市議会だより」での研修報告を充実させていきます。

○ホームページの充実では、市民へ議会情報をいち早く公開することを目標としています。その充実には更に調査研究が必要とされます。議会情報として、議員個人の政務活動費の収支報告を「議会だより」に掲載することを検討しています。

今回の「市民との意見交換会」に頂きました貴重な意見や提言につきましましては、議会改革調査特別委員会です。十分な検討を重ね、この特集号で回答させていただきます。

今後とも多くの市民が参加したくなる「市民との意見交換会」開催を目指し研究を重ね、市民との協働による政策提言や施策の推進に役立てると同時に、信頼される議会を目指していきます。

なお一層議会に対して、ご意見等をお寄せいただけるようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

竹田・岡本・明治・豊岡 地域

日時■平成27年11月11日(水) 午後7時～

参加議員



岩屋 千利 (班長) 和田 幸生 佐藤 美樹 後藤 憲幸 中村 憲史 山村 英治



明治分館

竹田 東部

East Taketa

意見・質問等	意見・質問等への対応
鳥獣害対策を市長へ提言したことは評価するが、内容の具体性にかける。もっと抜本的な対策をとるべき。竹田を鳥獣被害対策の特区内に指定してもらい、国や県をあげて手を打ってほしい。	捕獲報奨金の補正予算を11月の臨時議会で決定しました。11月から遡って補助します。猟師を増やすことや、小動物対策にも力を入れます。特区申請については検討します。
岡本地区の屋外防災放送について。スピーカーがそもそも無かったり、向きが悪く、放送が行き届いていない。緊急時に活用できるように整備してほしい。岡本地区は国道に接する場所が多く、信号を設置してほしい箇所がある。	山間部で谷部に集落があるため、全地域をカバーする屋外放送は厳しい状況ではありますが、なるべく多くの地域を対象とできる施設設置としています。しかしながら確実に情報が伝達できるよう、地形の状況等による音響の調査を実施するよう要望します。 信号機の設置につきましては、要望の趣旨を竹田警察署交通課に伝えています。
竹田駅周辺の活性化について。 ・落門の滝は、プラットフォームから滝が見られる全国でも珍しい観光素材で歴史的価値もある。もっと周辺を含め整備をし、観光客へアピールするべき。	・JRの車窓から滝が見える駅舎として、雑誌やテレビなどの取材を通じて情報発信しています。 周辺整備の検討と併せ、今後も更なるPRをするよう担当課に要望します。

意見・質問等	意見・質問等への対応
<ul style="list-style-type: none"> ・落門の滝をライトアップしてはどうか。駅のロータリーにある池は水が濁り、名水の里にふさわしくない。 ・竹田橋の河川敷の清掃を定期的にしてほしい。ボランティアだけに頼るのも限界がある。 ・大正公園が暗くて歩けないので整備してほしい。 ・竹田荘の画聖堂のトイレは古くて汚い。撤去してほしい。 ・竹田橋の欄干の街灯は節電のため、3本しか点灯しない。せめて終電すぎまで全部点灯するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップについては、27年の竹楽開催に合わせて始まり、現在も日没から21時まで、毎日点灯しています。ロータリーにある池については、担当課に要請します。 ・河川敷については、各種団体の協力を得ながら実施しています。 ・担当課に要請します。 ・文化財課が撤去の方向で検討します。 ・竹田土木事務所と協議を行います。
<p>月に2回、花水月の休館日に湯中運動をしているが、できれば3回開催できないか。 また、開催時間を延長できないか。 湯中運動の健康効果を感じている。保険料や医療費を上げないためにも、もっと市民に湯中運動を広めるべき。</p>	<p>月4回の休館日のうち2回はメンテナンスが必要ですが、収益性や一般利用客の利便のことも考慮したうえで、営業日や時間等の調整で実施拡大が可能か検討するよう要望しました。</p>
<p>意見交換会を開くというのは、普段から市民の声が市に届いていないからではないか。</p>	<p>市民の声を聞く機会としてこの意見交換会を開いています。頂いた声は市政に反映できるように取り組みます。</p>
<p>赤い羽根共同募金の総会では、直入地区と荻地区の集金率が低いと報告があった。両地区の取組が甘いのではないか。</p>	<p>共同募金の主旨の啓発に努めるよう、社会福祉協議会に要望しました。</p>
<p>自治会長の仕事が多すぎる。なり手がいない。</p>	<p>自治会運営や、行政からのお知らせを直接市民の皆さんにお伝えいただく大切な役目を担ってくださっており、負担軽減は重要課題であると考えています。全国の事例等も検証しながら、課題解決に向けて取り組みます。</p>
<p>T P P 締結は農家を苦しめる。市議会はどう捉えているのか。</p>	<p>T P P については、多くの意見が寄せられています。国・県の動向に注視し、市議会として対応してまいります。</p>
<p>政務活動費をもっと活用して議員の資質をあげる努力を。視察先は遠方に行かずとも、近場で参考になる場所があるのではないか。</p>	<p>視察については、広範囲に目的に沿った研修場所を選定し、研修成果を市政に活かす活動とすべきとしています。</p>
<p>市道城原線で修繕が必要な箇所があるが、市に言っても対処しない。市議会からも市に要望してほしい。</p>	<p>平成20年度より事業着手しており、平成27年度は、折立橋前後の80m、平成28～29年度は、後藤牧場前から約100mの改良を計画しています。</p>
<p>ウェイクボードのオリンピック競技認定に関して、市議会ではどういう話が行われたのか。</p>	<p>全員協議会で執行部から説明を受けましたが、招致活動の予算をかけていないため、議会では協議していません。</p>
<p>意見交換会では毎年、同じ議員が来る。他の議員とも話してみたい。議員全員での意見交換会を開いてほしい。</p>	<p>地元議員を優先させ、各常任委員会の委員を配置しています。今後の人選については、議会改革委員会で検討してまいります。</p>

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・議員との話し合いの機会が少ないので、今回のような会に参加したい。
- ・提案内容について、どのように検討したか、実施できた案件、ボツになった案件を発表してほしい。
- ・話に参加するだけでなく、実行に移していただければ、なお結構ですが。
- ・今後、人口減・高齢化により、財政状況が厳しくなることから、行政のチェック機関としての役割が大切となってくる。特に、不要不急のものや、また将来若い市民の負担となる事業は十分に議論し、健全な財政、そして希望のもてる市となるよう努めてほしい。

- ・市民の意見に、納得のできる説明をいただきたい。
- ・市民の声を反映した行政が成立するように、市役所職員への指導・助言を賜りたい。

【意見・希望等】

- ・地域住民のイベント等へのボランティアでの参加に、年齢的・経済的な限界が来ているように思われる。各種の団体や住民が、イベントの企画に少しずつ参加し、一部の人々に過重な負担がかからないよう、色々な人々の支援が必要と思う。
- ・意見を申したからと、言って良かったと思うだけでなく、議員さんが知っていただいただけでも良かったと思います。
- ・初めて参加させていただき、身近にお話ができ、これが実行できたら本当に意味のある機会をいただけたと思います。宜しくお願いします。

竹田西部
West Taketa

玉来・松本・菅生 地域

日時■平成27年11月11日(水) 午後7時～

参加議員



阿部 雅彦 (班長) 佐田 啓二 坂梨 宏之進 加藤 正義 渡辺 克己 鷲司 英彰

松本分館

意見・質問等	意見・質問等への対応
害獣被害対策として、個体数把握はできているのか。	害獣は移動し、その年の自然条件で個体数は大きく増減しますので、個体数の把握は市では対応ができない状況のようです。 したがって、議会としても有害鳥獣捕獲報奨金の増額など個体数を減らすことを主眼に対策を要請してきました。 26年度、イノシシは1,097頭、鹿は1,108頭の実績。27年度捕獲見込みとして、猪3,100頭、鹿1,500頭の捕獲を目指しています。
イノシシやシカが生まれるのを抑制するために、高崎山のサルのように、餌や避妊という方法は考えられないだろうか。	高崎山のサルのように、一匹ずつ捕まえて避妊処置をする対応と、イノシシの場合の扱いは異なります。ランダムに避妊薬入りの餌を自然界に捲くことは、自然生態系を壊すことや安全面からできません。ワナや鉄砲による駆除が今のところベストのようです。さらに検討していきます。
駆除する側の人数はどうか。育成は考えられないのか。駆除する側の免許や、ワナの講習など誰でも取れる対策を考えてほしい。	高齢化により猟銃による捕獲者は減少傾向です。ワナ猟については増加傾向にあり、全体として微増傾向にあります。猟師の年間必要経費は猟銃保持者が約4万8千円、ワナ所持者は約2万4千円となっています。現在の支援は、免許取得の講習受講料を全額補助しています。今後も更なる負担軽減ができるように検討をしてまいります。ワナについては免許の取りやすい方法を検討してまいります。
空き家対策について伺う。緊急度に応じた検討会はできているか。	空き家対策協議会を設置し、空き家の状況調査を行っています。建物の撤去に関しては、上限50万円の補助金制度を設けています。
空き家対策について別府市のように危険度・緊急度に応じた施策を進めてほしい。	市の基本的な考えでは、「空き家に関する責務は所有者にあり、解体等の措置は所有者で行うもの」としています。しかし、所有者がいない場合などは、危険解消のために緊急措置として解体などを行わなければならない場合も発生する事が考えられます。現在は、市内の空き家の調査を行い、危険性の有無についても調査しているところです。
農地の管理について。個人経営の農家が多い現状のなかで、高齢者がその中心となっている状況である。今は何とかやっつけていけるが、5年10年したら無理だと思う。後継者が帰ってきてすぐに従事することも無理である。結局農業の担い手がなくなり、土地があっても人手がないという状況になりはしないか。	高齢化により農地の維持、組織の運営が難しくなっています。そのため、基盤整備や農地の集約化、施設園芸への転換などが必要だと考えます。 農業後継者対策として、新規就農者・親元就農者に対する支援策を充実させていきます。
基盤整備が進んでいないのが問題。作りにくい圃場、引き受け手がいないのは当然である。	竹田市の耕地面積は6,860haで、水田整備率は68.8%で県の平均の75.8%を下回っています。耕作放棄地の解消、作業効率の向上、生産性の高い農業経営を目指し、同時に担い手を確保するために基盤整備事業を進めていきます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
保健師の活動の充実を図ってほしい。	保険健康課では、保健師について愛育保健推進委員会を通じ様々な要望に応えられるよう対応しています。
TPPについて。マイナスのイメージだけではなく、他の11か国が日本を恐れている場面はないか。	農業面でいえば、ピンチと言わざるをえません。しかし、日本の農産物は、安全・安心・美味しいという点においては、世界に誇れると思います。売り込みのチャンスと捉え、議会としても取り組んでいきます。
暮らしのサポートセンターについて。効果は上がっているのか。さらに研究してもらいたい。	既に「久住りんどう」「長湯ゆのはな」「荻しらみず」の他、竹田北部の「双城」、南部の「あけぼの」の五つが設立されて運営されています。高齢者が参加しやすい方法など、研究課題は多くありますが、参加者が増え、活動も広がりを見せています。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・企業の誘致。
- ・机上の空論に終わらず、実効性と将来性を見出して実行に移してほしい。
- ・個別所得補償やイノシシ等の対策のように、わずかな金銭面の手立てではなく、実際に手入をした実効性のある手立てをしてほしい。
- ・現状に照らした適切な対処と、将来に生かせる取り組みが大切である（10年、20年先を見ること）。
- ・従来からの地域住民に、もっとスポットを当てた行政を望む。全体が地盤沈下する可能性あり。
- ・是々非々の討議、討論、採決を期待します。将来が開ける夢のある施策、基礎自治体の存続・発展に寄与する施策については、特に支援を期待します。また、提言を期待します。

【意見・希望等】

- ・防犯灯のランニングコストは、市で負担しても良いのでは？
- ・杉、竹の山を整備してほしい。地籍調査の完了が遅れているため、所有者不明の土地は増える一方。



入田・姫岳・宮砥 地域

日時■平成27年11月13日(金) 午後7時～

参加議員



渡辺克己
(班長)

加藤正義

日小田秀之

鷲司英彰

佐藤美樹



入田分館

意見・質問等	意見・質問等への対応
市議会の権限として調査権や意見書提出権があるが、竹田市議会での過去の執行実績はあるか。また、その内容は。	ヘイトスピーチ対策や伊方原発再稼働中止を求める意見書等を国に提出しました。
子育て支援住宅について、現在4戸だが、10戸ほどに増やしてはどうか。	子育て支援住宅の成果として、複式学級の解消が挙げられます。子育て支援住宅は地域の要望で入田と城原に建てられました。今後は地域の声を聞き、市に要望してまいります。
子育て支援住宅の効果は大きい。市全体に計画的に建ててはどうか。住宅に関する市の方針があいまい。計画性をもって推進するべき。	地域活性化の面だけでなく、学校存続の視点も重要だと考えられますので、教育委員会とも協議を行ってまいります。
子育て支援住宅に入居して、就学前の子どもがいる。祖峰小学校の児童が減る中、小学校の存続が気になる。	
竹田市の地方創生戦略に、子育て支援住宅についての内容が盛り込まれているのか。	竹田市地方創生TOP総合戦略には、若い世代の定住促進を図るため、良好な住環境の整備を行う趣旨の項があります。空き家の活用や家賃控除等の施策を行い、子育て世帯が快適に暮らせる住環境整備を要望していきます。

意見・質問等	意見・質問等への対応
岡城の石垣保全に樹木が影響する。伐採してほしい。 岡城を守ってほしい。	岡城全体の公有化を目指し、石垣の整備、樹木の伐採など岡城の保存整備に努めています。 平成26年度、岡城の活性化等について政策提言を市長に行いました。
南部は高齢化が進み、耕作放棄地が増えた。鳥獣害も増える一方だ。 市議会はどう考えているのか。	南部地区は市内でも最も早い段階から、集落営農に取り組み、組織の法人化など地域に根差した活動がされてきました。今回、特に九重野地区では、国が進める農地中間管理機構制度を利用して45ヘクタールもの農地を集落営農法人に集約する事ができました。 議会として、集落営農の推進と荒廃地対策についての提言を行ってまいりました。
久住に比べ、祖母山系の整備が遅れている。道案内や登山道整備、ビジターセンター設置を進めてほしい。	現在、祖母傾ユネスコエコパーク大分・宮崎推進協議会(竹田市・佐伯市・豊後大野市・延岡市・高千穂町・日之影町で構成)において、ユネスコへの平成28年の登録に向けて着実に取り組んでいます。周辺ゾーンの地域振興にも大きな期待が寄せられています。 議会としても情勢を見極めながら、要望の実現に向けて対処してまいります。
人口減対策として、企業誘致や雇用対策、婚活事業を市は積極的にすべき。 人口が減る視点だけでなく、増やす視点を持つべき。	竹田市地方創生TOP総合戦略と竹田市定住促進ビジョンを策定し、人口減対策に取り組んでいます。 企業誘致においては、市有の空き施設の貸し出しや、税制面での優遇措置等を講じて誘致を進めています。 議会としても重点課題ととらえ、執行部と協力して積極的に活動していきます。
農業法人の担い手に集積できる状況にあるか。 国に改善の要望をしているのか。 法人に若い人材を派遣できないか。	今後は新規就農者や異業種参入を促進しながら、集落営農を推進することが必要なので、議会として取り組んでまいります。
地域おこし協力隊に農業分野の隊員が少ない。議員は農業に関する話ができていない。もっと農業の議論をするべき。	地域おこし協力隊の公募については、本人の希望によるところで決まります。今後は、農業分野の採用枠を増やすことを行政に要望してまいります。
鳥獣害対策について。自分では処理できない。公営の処理場を造ってはどうか。	鳥獣の肉処理加工場については、議会でも議論を重ねています。加工事業に取り組んでいる方と協議をし、その実現に向けた支援を行いたいと思います。
子どもが遊べる公園がない。造ってほしい。	新文化会館の周辺に公園整備の構想があります。議会としても議論を進めてまいります。
市議会として原発問題をどう考えているのか。	これまで伊方原発再稼働反対と再稼働中止を求める意見書を国に提出しています。
南山荘は現在地の吉田に再建できないのか。	公募の結果、久住に移転が決まりました。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・議会における議論を活発に。
- ・執行部に対する強い意見を言える議員になるよう要望する。
- ・定期的に交換会を催してもらいたい。
- ・人口減少を、危機感を持って、市民みんなで考える機会をもってほしい。
- ・たいへん期待が大きい。
- ・箱物建設を造り過ぎて、その維持費に後世の市民が悩む姿が必ず来ることを心に、これからの市政を少しでも明るく、皆さんで進めてほしいと願います。
- ・市民の暮らしを良くする。

【意見・希望等】

- ・交換会で出された意見等、課題を解決していく方向での取り組みが大切。
- ・子育て支援住宅を入田に10戸に増やしてほしい。
- ・名水河川プールの駐車場の整備(確保)。
耕地を駐車場にしたい方がおられます。他用途申請を提出すれば、農業委員会で検討してもらいたい。(転用の目的が駐車場の場合、できないのか)

- ・河川プールの出入口を別な場所にしてほしい。
(駐車場の中央に進入口が欲しい。是非実現してほしい)
- ・竹田市では、ごみの収集日が祝祭日には稼働しないが、祝祭日も収集してほしい(年末年始は除外)。
※大分市は、有料化以前から収集している。
- ・南部地区の議員さん一丸となって、遅れている南部活性化を第一の道とし、意見のありました祖母山系の観光開発に、まず、陽目・神原線の周囲の活性化に目をやって、大型林道の倉木へと、一日も早く活性化してほしい。神原穴森様と緒方へ通じるうた姫道路の上下30メートル位に、桜・もみじ・山菜等を植えて、来世が美しく賑わう観光道路にしてほしい、岐阜・長野へ通じる旧中仙道のように。

竹田 北部

North Taketa

宮城・城原 地域

日時■平成27年11月11日(水) 午後7時～

参加議員



日小田 秀之 (班長) 本田 忠 森 哲秀 足達 寛康 吉竹 悟 徳永 信二



文化財管理センター

意見・質問等

意見・質問等への対応

総務常任委員会に聞くが、26年から27年にかけて市税が増えているがどうしてか。

市税が増えた理由は、24年災害復旧工事が3か年で行われ、昨年度が最終年となっています。工事の契約金が大幅に増え、企業の法人事業税等が上がったことがその理由だと考えられます。

高齢化率の高い地区では自治会機能の維持が困難になっている。自治会統合を検討する必要があるが、自治会の持っている土地・財産等もあるので自治会同士の話し合いだけでは進まない。逆に言えば、マップ等で色分けをしながら、人口密度や高齢化率に沿って、行政主導で指導をしてもらえばいいのではないかと思う。

行政側から統合を提示することはできません。地域からの統合希望があって行政として解決に向けて関わるべきであると考えます。自治会長会の会議等で協議をするよう行政に要望していきませんが、地域の課題の確認、今後の対策等を議会としても研究していきます。

毎年、意見交換会に参加する市民が少ない。農家の皆さんは、夜は疲れているのではないか。開催の時間・時期について再度考えてほしい。

本年で4回目の開催ですが、過去に4月に開催をしたところ、農繁期にあたることから開催時期の変更の意見がありました。議会内で検討をした結果、農閑期であることや、次年度の予算に反映ができる、この時期での開催となりました。開催時期・時間については再度議会内で検討してまいります。

基盤整備が進んでいるが、取り組んでいない所がある。炭竈は宮城の中心部だが、これまでほとんど手付かずの水田が多い。基盤整備に取り組むには年齢が80歳を過ぎた人は、今後誰が田を作るのか分からないのに投資はできないとのことである。だから、早めに後継者や地域にいる専門農家を交えて話を進め、厳しいけど経営規模を大きくしなければ今後は生きていけない状況である。基盤整備をする場合に、地域の後継者や専門農家を入れた中での話し合いを十分にしながら、誰かが田を作ってくれるといいのだがとの意見を聞く。多額の投資をして事業を行うので、後々基盤整備をして良かったという声を聞けるようにしてほしい。

基盤整備は、地元受益者で区画割りや、農道・水路の配置などの協議を行い、地元の同意を得て事業をするものです。事業後に、耕作を引き受ける人をあらかじめ決定することが必要です。地域の実情に合わせて協議を行っていただきたいと思います。

消滅の可能性が高い集落がある。孤独死などが起きないように、どう対策をとるのか。

議会としては現状を把握し、議論を進めています。独居高齢者へ緊急連絡端末等の配布・利用周知や、見守りネットワークの取組を進めています。

意見・質問等	意見・質問等への対応
農業の町と言うが、観光的なこと・文化的なことの方が目立っている。ケーブルテレビに農業関係のことをもっと出してはどうか。	大分県豊肥振興局と協力しながら行っていますが、更に研究、検討するように要請します。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・市民の目線で頑張ってください。
- ・竹田市の進路について。

【意見・希望等】

- ・問題が山積して集中できない？



萩 地域

日時■平成27年11月12日(木) 午後7時～

参加議員



渡辺 克己 (班長) 後藤 憲幸 徳永 信二 山村 英治 坂梨 宏之進 森 哲秀



萩公民館



意見・質問等	意見・質問等への対応
議会運営について、事前通告にないことを質問して執行部が答えている。適切な対応を求める。 議会議中継が中断されて議場で何が行われているか分からない時がある。収録後に編集して放映したらどうか。	議会基本条例により、議長判断で関連があることについて、掘り下げてもよい一問一答方式をとっています。全国的には収録後調整して放映することより、議会内で何が行われているのか分かる生中継の方向にあります。更には本会議や全ての委員会をインターネットで全国に中継、公開しているところもあります。議会改革検討委員会では、将来的には、議会開催中の全てをケーブルテレビ中継することを検討中です。
火葬場のトイレが古くなり、陰気な状態。最後に人を見送る大切な施設なので、手を入れて、送る人の心の安寧が図れるようにしてほしい。	清掃を行い改善しています。
新築する萩保育所の位置は、萩小学校グラウンドの一角であると、一般質問の答弁にあったが、萩町民の声を反映した位置なのか。 その場所はかつて庁舎移転の候補地にも挙がったが、グラウンドのほこりがひどく、環境に問題があるとして見送られた。	新築移転構想がある萩保育所の建設用地については、議会としては、1月の臨時議会で教育的視点や環境を考慮して、当初執行部が提案した萩小学校のグラウンドの一部が適当であると執行部に意見・要望を出しています。
執行部と市民との意見交換会の実施について、議会と市民との意見交換会が毎年行われるように、執行部と市民との意見交換会を毎年行ってほしい。	執行部に要望します。
国民宿舎直入荘をどうするか、課題に挙がって数年経ちました。地元の方々に、早く営業が始まるようにとの思いもあるでしょうが、温泉観光の厳しい現況下、直入荘の建築についてどのような状況にあるか、議会はどのような対応をしてきたのか、又、将来に問題を残さないように、これからどのように対応していくのか。	国民宿舎直入荘は、売却する方針から、改修、そして新築と執行部の方向が変わってきました。それを受けて、議会は議員全員で構成する「主要公共施設調査特別委員会」を開いて何度も検討してきました。 執行部からは、直入荘を宿泊棟と温泉棟(ミニクアハウス)に分離して建設する計画が提示されました。そのうち宿泊棟建設は、補助金1億円を付けて民設民営で実施する計画が示されました。議会として民設民営で了承しています。 現在、温泉棟(ミニクアハウス)建築については、運営に関しての詳細な収支計画を、主要公共施設調査特別委員会に説明するように執行部に求めています。

意見・質問等	意見・質問等への対応
公共施設利用料を、多くの市民が集うような利用しやすい料金設定に見直すことを検討してみたらどうか。	生涯学習課でも同様の要望をお聞きしていますので、検討していきます。
防火水槽施設の改修について、漏水が激しくて6割も溜まらない防火水槽の改修を数年前からお願いしているが、市は一向に手を入れない。市は危機感を持って対応してほしい。	国庫補助により防火水槽設置事業を実施しており、毎年度2基分の予算が配分されています。該当の水槽については改修ではなく、安価な国庫補助による新設に変更し、用地の提供も受けている状況です。 平成27年度は国の都合で予算配分がありませんでした。平成28年度は予算配分が決まり次第、全体の優先順位により設置の順番が決まります。
竹田医師会病院の機能充実について。高齢化の進む地域に対応できるよう、竹田医師会病院の機能充実を図れないか。	保険健康課では県からの補助金を得て、4月からの2次救急体制に向けて、施設の整備や医療スタッフの確保に努めています。
健康増進のため、花水月の休館日に現在70名程が歩行浴や体操をしている。良い効果が表れているので、多くの方に呼び掛けてほしい。引き続き利用できるように対処をお願いする。	月4回の休館日のうち2回はメンテナンスが必要ですが、収益性や一般利用客の利便のことも考慮したうえで、営業日や時間等の調整で実施拡大が可能か検討するよう要望しました。
町中の共同店舗建設について、「とまとちゃん」に町中に移ってもらい、商店や食堂が入った「道の駅」システムの直売施設を造ってほしいと考えるがどうか。	以前にも荻駅庁舎内に食堂を造り、「とまとちゃん」も入ってはどうかという意見がありました。しかし、現在地の「とまとちゃん」の店舗は場所的に良いということでした。 共同店舗の建設については、商工会の中で十分話し合ってください。
国民保険税の未納により納税済み市民の割高について、議員はどのような認識を持っているか。	制度上、割高な数値となりますが、課題として検討してまいります。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・市政のチェックをしっかりと！
- ・執行部と同等の考えを行い、市政へのチェックをお願いいたします。
- ・市民との対話を大切にして、今後の竹田市に活力をお願いします。
- ・次回の選挙は、立候補者が定員に満たないという声が聞かれます。多くの人が関心をもつ議会になってください。
- ・市、町のために頑張ってください。
- ・市執行部との連携した（チェックと協調）市政への取り組みを望む。
- ・個々の議員一人ひとりが、常に行政運営の監視機能（チェック機能）という議会としての役割を意識してほしい。
- ・市議会だよりについて、議案等に対する議員の賛否を明らかにしていることは評価されるべき事項だが、できることなら賛否の理由（特に反対の理由）を付してほしい。主要公共施設調査特別委員会の報告をしてほしかった。
- ・質問したことが、議員さん達に伝われば良いと思います。
- ・住民市民の声を市政反映することに期待している。また、情報を市民に返してほしい。

【意見・希望等】

- ・荻の農業、商工業がなんとか成り立つようにお願いします。特に小さな農業、商店を。
- ・初めて参加しましたが、雰囲気も良く、自分の思うことができなくて良かった。進行も良かったと思います。
- ・意見交換会への参加を、議員から直接誘われたことはない。それぞれの議員によるPRが必要ではないか。
- ・常任委員会の報告は、重要と思われる議案や賛否が分かれた議案等についての報告も期待していたのだが。
- ・施設利用の料金設定と利用団体と利用者の声を聞き、条例改正を。

久住

Kuju

久住 地域

日時■平成27年11月12日(木) 午後7時～

参加議員



佐田 啓二
(班長)

足達 寛康

中村 憲史

吉竹 悟

鷺司 英彰

阿部 雅彦

久住民館



意見・質問等	意見・質問等への対応
鳥獣被害による取り組みについて、どのようになっているか。また、鳥獣害対策の継続的な予算措置を考えてほしい。	議会提言により、昨年11月臨時議会において、市単独の報奨金を可決しました。 今後も継続するように、鳥獣害対策予算は行政に要望していきます。
高齢化して農業をしていっただけでも大変なので、鳥獣被害の取組に対する人材育成をしてほしい。	高齢化により猟銃による捕獲者は減少傾向です。ワナ猟については増加傾向にあり、全体として微増傾向にあります。猟師の年間必要経費は猟銃保持者が約4万8千円、ワナ所持者は約2万4千円となっています。 現在の支援は、免許取得の講習受講料を全額補助しています。今後も更なる負担軽減できるように検討をまいります。ワナについては免許の取りやすい方法を検討をまいります。
スポーツに対する取組を盛んにする必要があるのではないかと。健康を維持し、地域を盛り上げるにはスポーツが一番と考えるがどうか。	少子・高齢化によりスポーツ行事の運営が難しくなっています。しかしながら、地域コミュニティーと市民の健康維持にはスポーツ活動は必須です。地区体育協会等での検討を望みたいと思います。
大分県中学校駅伝大会に関して、向う何年かは久住で開催されることになっているのだから、市を挙げての盛り上がりが必要ではないか。市民の関心度が低い。もてなしの心が必要。ここでずっと大会を続けたいと思わせるような機運作りが必要。	県中体連の主催であるため、今年度の市の関わりはコース等のハード整備が中心でした。平成27年度から5年間、竹田市で開催の予定です。初年度の反省を踏まえ、市全体として取り組む体制を要望してまいります。
暮らしのサポートセンターに関して、運営費等の市補助はどうなっているのか。	今年度は市の単独事業として、市内5地区の暮らしのサポートセンターの運営に約1,300万円の事業費が組まれています。 暮らしのサポートセンターは有償ボランティアで自主運営が基本となっています。
防災無線により、飼い犬と猫を繋ぐようにという放送が3日間あった。猫を繋ぐという条例があるのか確認してほしい。	猫の繋留についての条例は、現在はありません。
総務・産業建設常任委員会について伺いたい。 地域課題をどういう目線でとらえているのか。	総務常任委員会としては、人口減に対応するための移住定住政策が重要であると捉えています。実際、受け入れは進んでおり、新規定住人口の増加について一定の成果が見られます。しかしながら自然減には追いつかない状況ですが、将来少しでも人口の減少に歯止めをかけられるような施策を提言してまいります。 産業建設常任委員会では、阿蘇山の降灰対策について、議会として被災農家に対する支援策を講じるように要請した結果、26年では246万円を支援しました。また、26年2月の降雪被害対策については同様に要請し、農林業者に2億1143万円、畜産農家に1億679万円を支援しました。
新規就農者の育成に関する補助金は(150万円×5年＝750万円)手厚いが、親元就農者に対する補助が薄いように思う。就農者を育てていく市独自の事業の可能性はないのか。	新規就農に関しては、とまと学校等一定の成果を上げています。議会でも親元就農者に対する支援の少なさは感じています。現在、市に支援策を充実させるように提言しているところです。

意見・質問等	意見・質問等への対応
高齢化、過疎化が進み、高齢者のひとり暮らしが増えている。一人暮らしの高齢者にとって、病院までという以前に近くのバス停まで行くのにも困っている状況である。やむを得ずタクシーを使っているというような話も聞く。サポートセンターだけの対応では無理ではないか。他地域の状況を調査して、交通費の助成等考えられないか。	現在、竹田コミュニティバスの運行や暮らしのサポートセンターの輸送サービスを行っています。今後ともより良い方法はないか検討を重ねていきます。
「よかろうバス」はどうなったか。	現在、運営会社は倒産しているため対応できない状況にあります。
旧久住町役場庁舎の利用方法について。自治会長会を通じて庁舎を考える会とともに、市長に要望している。その内容は3階を美術品などの展示場、4階を展望所としての利用である。特に4階は見晴らしもいいし、議会としても要望できないか。	行財政改革の中で既存建物の扱いについては検討されているものであり、議会としてもその結果を注視していきます。
マイナンバー制が導入されることとなった。この個人情報洩れれば取り返しがつかない。漏えいに対して専門家に委託等してでも気を付けるように願う。	マイナンバーを取り扱うシステムについては、専門業者に委託し、三重重のチェックを施すセキュリティ対策を講じています。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・竹田市の行政に対する適切な判断・指導を期待する（企業でたとえると取締役）。課題の洗い出し、その対策案の妥当性・実行可能性の評価、執行状況の確認等、行政側の業務遂行状況を良く把握していただき、是非等をご判断願いたい。
- ・判断のモノサシ…多くのモノサシを持っていただきたい。
- ・市執行部と密に連絡して、市勢発展のため頑張ってもらいたい。
- ・意見交換会の出席について、議員さんも個別に集めるためのお願いをして、少しでも多く集めていただきたい。
- ・明るい町づくり、人口の増加。

【意見・希望等】

- ・議会として、特に力を入れて取り組んだこと、その結果等についてご報告していただけると良い。重点課題として何を挙げているか。その解決に向けて、議会が頑張ったこと。結果に対する評価…市民側と評価がズレていないか。
- ・マイナンバー制度について、情報漏洩対策に万全を期していただきたい。
- ・意見交換の際の声が聞きとれず残念だった。会場設定に工夫を（日本間で良かったのでは）。マイクの必要な人がいたこと。
- ・人口減少による今後の諸問題（耕作放棄地、独居老人等）
- ・竹田市に合った予算等、活動をお願いしたい。
- ・展望所（旧町舎の4階利用）は、1階～3階の防犯セキュリティで、土・日曜日に利用できるようにしてもらいたい。
- ・久住下町の交差点を左折して左側、水稻試験地の跡地を整備しているようだが、あれは将来何ができるの？
- ・竹田市の人口、10年後の見込みは15,000人？ 市サイドは、巷ではコンパクトシティー構想を考えているの？ 議会としての考え方は？
- ・猟友会の方々は、捕獲して害獣の処分について、「最近は貰い手もない」という話がある。処分場の検討は是非お願いしたい。



直入 地域

日時■平成27年11月12日(木) 午後7時～

参加議員

加藤 正義 岩屋 千利 和田 幸生 本田 忠 日小田 秀之 佐藤 美樹
(班長)

直入支所

意見・質問等	意見・質問等への対応
鳥獣害対策について。箱ワナは狩猟免許がなくても借りられるのか。箱ワナで獲れても処理ができない。	狩猟免許を取得し捕獲班に入ることが必要となります。捕獲した鳥獣処理は、猟友会が行っています。加工所については、検討中です。
市民提案型地域活力創造事業で採択された鳥獣害対策の団体の成果は。	市内で「ジビエ料理」を提供する店を開拓中です。事業成果については、今年度末に実績報告を受けます。
鳥獣害捕獲奨励金について、他自治体の実態を調査し、見合った予算を組んでほしい。	他の自治体の報奨金を調査し、今回11月補正予算で、猟期内で一頭当たり3,000円の予算が議会提案により実施されました。
TPPについて。収入保険について調査し、しっかりと対策を講じてほしい。	今後の「収入保険制度」の動向を注視し、議会として対応してまいります。
旧1市3町の魅力を統合して観光施策を立てるべき。今はバラバラだと感じる。	現在、市内周遊の観光商品を売り出していますが、今後も旧1市3町の魅力を統合した観光開発を促進させるように、議会としても取り組んでいきます。
暮らしのサポートセンターについて、サポーター養成講座を受けた方々の活躍を評価している。市民の健康づくりには人材育成と仕組みが重要。市はしっかり取り組んでほしい。	高齢化社会を迎え、地域で支え合う組織作りが必要です。市を中心として、市民の人材育成が促進されるよう、議会として注視してまいります。
意見交換会は4回目の開催になるが、これまでの開催の成果はどうか。	頂いた意見をもとに、岡城活用の観光振興や鳥獣害対策、農業施策の提言を行ってまいりました。
議会で、直入に予算をかけすぎだと指摘があったと聞くと、ウェイクボードなどは民間の事業で、行政の予算ではない。議会は公平に見てほしい。	地域間の予算配分については配慮する必要がありますので、公平であるように要望していきます。
市道の除草作業が、高齢化した自治会では行えない状況にある。地域おこし協力隊に委託するなど対策を考えてほしい。	地域おこし協力隊の趣旨が違いますので、市道の除草作業の委託はできません。状況に応じて、ふるさと応援隊を活用していただきたいと思います。
市内の学校の水質維持に努めてほしい。水は周囲の自然環境や農林業とも大きく関わっている。水質改善と環境改善をしてほしい。	教育委員会では、6月と7月の水質検査の結果を受けて対処しています。
直入荘に関する不要予算の処理はどうするのか。流用はできないのか。	原則として流用はできません。解体費の予算執行には、議会から経営方針が明確になってからという付帯決議を行いました。

【会場アンケートから】原文のまま掲載しています

【問7】「議会に何を期待していますか」の回答

- ・市民の声を市に届ける架け橋として、多くの現場に足を運んでほしい。
- ・市政の評価者として、中・長期的、広角的視野をもって、スピーディーに仕訳実践してほしい。
- ・意見交換会はもちろんのこと、日頃からの市民の声に、今後も働き掛けていただきたい。
- ・竹田市活性化に対し、市民の意見を参考にして頑張ってもらいたい。
- ・行政をよく知り、その背景まで捉えたうえでの議論を交わしていただきたい。

【意見・希望等】

- ・行政へ望む。宿舎建設を願う。